

駒大 1(1-1)2 神大

得点者(アシスト)

【駒】4分:田村(島田)
 【神】28分:神山(宮下)
 【神】55分:三平(今野)

KOMAZAWA	KANAGAWA
GK②岡 大生(2)	GK①市川智也(3)
DF③鈴木寿毅(4)	DF②今野裕亮(4)
DF⑤伊藤 龍(3)	DF③神山隼人(4)
(83分)④山澤誠広(4)	DF④安藤寛明(4)
DF④中山友規(3)	DF⑤佐藤貴則(2)
DF②武田憲明(4)	MF⑥吉田一樹(4)
MF⑩市川祐樹(3)	MF⑩福井洋介(3)
MF④山崎良介(4)	MF⑥岡 孝憲(4)
(69分)⑦佐藤佳成(3)	MF⑧宮下 弘(4)
MF①島田祐輝(4)	FW⑩三平和司(3)
MF③山崎健太(3)	FW⑨鈴木 淳(3)
FW②三島康平(3)	
FW⑨田村貴之(4)	S U B
(60分)④山中淳樹(3)	GK②高橋拓也(1)
	DF④永井祐貴(4)
S U B	DF②鈴木達哉(2)
GK①矢田雄基(4)	MF①内村 淳(3)
DF②金 正也(2)	MF⑥郷内勇太(3)
DF③山崎紘吉(1)	FW⑩木村太一(2)
FW④山下真太郎(4)	FW⑥大戸航平(2)
MANAGER	MANAGER
秋田浩一	大森西三郎
警告(C) / 退場(S)	
【駒】44分: 山崎健太(C)、49分: 三島康平(C)	



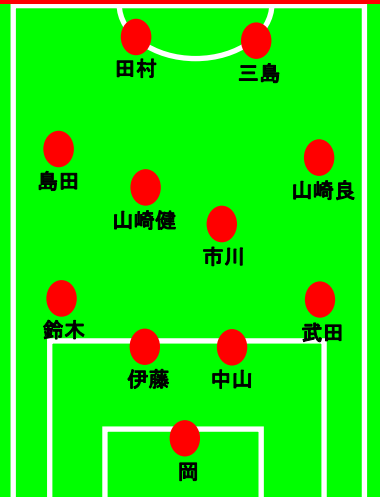
▲4分、先制ゴールを決める田村。早い時間帯での得点だったが、後が続き「ゴールを決めても勝てなかったら意味がない」と悔しさをにじませた



(上)リーグ戦では好調を維持していた島田も、この日は沈黙。試合後、「神大がどうこうっていうより、自分たちで目減ってしまった」と敗戦を悔やんだ

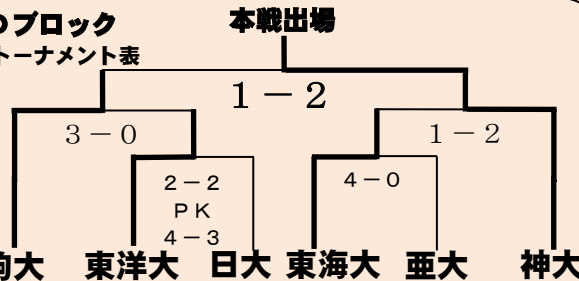
(左)途中出場した山中。果敢に攻める姿勢を見せたが、公式戦デビューから続く連続得点は「3」でストップした

基本フォーメーション



Dブロックは神大が2年連続2度目の本戦出場を果たした。他組はリーグ戦でも好調の国士大、昨季覇者の流通経大、2部の慶大を逆転で下した中大、エース渡邊の決勝点で勝利した早大の4チームが順当に大阪への切符を手にした。

Dブロック トーナメント表



PLAYBACK vs 東洋大学

6月14日 東海大学グラウンド
 ☆駒大3-0東洋大

(1-0)
(2-0)

【得点者】(アシスト)

4分:【駒】山崎健(三島)
 49分:【駒】山中(佐藤佳)
 80分:【駒】中山(鈴木)

【メンバー】

GK 岡 大生 [2]
 DF 武田憲明 [4]、中山友規 [3]、伊藤 龍 [3]、鈴木寿毅 [4]
 MF 市川祐樹 [3]、山中淳樹 [3]、島田祐輝 [4]、山崎健太 [3] (→81分山崎紘吉 [1])
 FW 三島康平 [3] (→85分山下真太郎 [4])、佐藤佳成 [3] (→65分山崎良介 [4])

内容悪くも、妥当な勝利

初戦の相手は関東リーグ2部の東洋大。開始4分、三島の落としたボールを山崎健のシュートで先制。その勢いを活かし、そのまま格下相手に余裕の試合展開を見せるかと思われたが、中盤になっても攻撃の起点になる三島の元へボールが繋がらず、相手陣内に攻め込むことができない。逆に東洋大の巧みなボール回しに振り回される場面も多々あった。

しかし後半になり、流れは一転する。守備陣の動きも良くなり、攻撃のチャンスも増えた。すると49分、山中が2点目を奪い流れを引き寄せると、80分には鈴木の中盤を中山が頭で合わせ、ダメ押しの3点目。東洋ペースにのまれた時間帯もあったが、結局3-0の完封勝利。試合終了後、選手は満足のいく内容ではなかったことを漏らしたが、負けたら終わりのトーナメントという舞台で、最低限の結果を残した試合だった。(松尾祐希)



▲先制点を決め、ハイタッチを交わす山崎健と島田